

群青 7月号

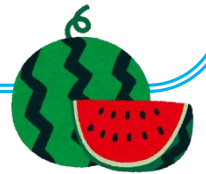
串木野高等学校図書館
令和7年7月9日発行

期末考査，串木野学最終報告会，お疲れ様でした。

串木野学最終報告会は，みなさんの着眼や調査，行動力もすばらしく，感動しました。

！学期間頑張った疲れや毎日の暑さで不調を感じていませんか。水分補給や休憩をとりながら，猛暑に備えましょう。

夏休みは，時間や気持ちに余裕が持てて読書も出来ると良いですね。図書館は，新刊も入り，おすすめの本をそろえてお待ちしております。



7月・8月の図書館利用



＊開館時間 10:00から16:00

＊貸出冊数 10冊

※ 現在借りている本がある人は，返却・貸出期間延長の手続きをしてください。

＊館内での飲食はできません。

＊他の利用者の迷惑になるような行為をしないでください。

＊8月12・13・14・15日は，閉館です。

※ 臨時で休館となる場合，図書館入口に掲示します。

＊蔵書点検を行っていますので，図書委員の指示に従ってください。

購入します！
予約を受け付けます

川野和昭先生(理科) おすすめの本

『時間は存在しない』

カルロ・ロヴェッリ

イタリアの物理学者カルロ・ロヴェッリが現代物理学における時間の概念について書いた本。ニュートン物理学における絶対時間、絶対空間の概念からアインシュタインの相対時間、相対空間への転換を入り口として、数式を使わずに一般向けとして書かれているが難解。私もよく理解できない部分があった。だが時間の本質に触れるには最適な本である。ぜひ若い皆さんにチャレンジして欲しい。



全集に入っています！
予約を受け付けます

久留 隆先生(国語) おすすめの本

『コシャマイン記』

鶴田 知也

昭和11年上期芥川賞を受賞した作品ですが、ほとんど知られていないかもしれません。(第3回受賞)

この年は、2.26事件の年でもあり、戦争が始まろうとしている時代でありながら、アイヌ民族への理不尽な大和民族の暴虐をテーマとしているこの作品が受賞したことに驚きを感じます。

昭和16年上期に受賞した多田裕計の「長江デルタ」とは、そういう点で対照的な気がします。

